

令和4年度 堺春季大会女子競技規則

採点規則 2022年版 変更規則 I を以下のように部分変更する。

【演技の採点】

Dスコア（構成）

難度点 (DV)	<p>跳馬・・・2022年版採点規則の難度点に 1.40点 をプラスする。</p> <p>段違い平行棒・・・終末技を含む最大8つの高い順からの難度を数える。</p> <p>平均台・・・終末技を含む最大8つの高い順からの難度を数える。 *アクロバット系、ダンス系の区別はおこなわない。</p> <p>ゆか・・・最大8つの高い順からの難度を数える。 *アクロバット系、ダンス系の区別はおこなわない。</p> <p>同一技の難度は演技の中で1回のみ承認される。</p>
構成要求 (CR)	4つの構成要求 (各 0.5×4) 最大で 2.00
加点	<p>段違い平行棒、平均台、ゆかの演技において</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質の高い演技に対して最大で 0.50 を与える (一部分または演技全体の流れに対して評価する) *美しさ (体線・開脚度) *雄大さ (宙返りの高さ・振幅の大きさなど) ・ボーナス (+0.5) <各種目の項目に記載>

Eスコア（実施）

10.00 から、実施と芸術性の減点をおこなう。

短い演技

短い演技の場合、Eスコアの最高点は以下の通り。

6 技以上の実施	10.00
5 技の実施	8.00
4 技の実施	6.00
3 技の実施	5.00
2 技の実施	4.00
1 技の実施	3.00

【各種目の規則】

跳馬	<p>跳躍台の高さ 120 c m</p> <p>開脚跳び・閉脚跳び・台上前転のDスコアは 1.00 とする。Eスコアは 5.00 から減点する。</p> <p>台上倒立前転のDスコアは 2.00 とする。Eスコアは 7.00 から減点する。</p> <p>2回の跳躍を実施し、良いほうのスコアを有効点とする。</p>
----	---

	構成要求 (CR)	種目特有の減点	A難度を認められる技	備考
段 違 い 平 行 棒	① 低棒け上がり ② 高棒け上がり ③ 棒に近い回転系の技 ④ ③とは異なる回転系の技 ボーナス 終末技がA難度以上であれば、 +0.5 の加点を与える。	「低棒から高棒へジャンプして移動する-0.5」を削除する	・さかあがり (開始技) ・そんきよ ・高棒～ 棒下振り出し下り	
平 均 台	① 180度開脚 (前後または左右) または左右開脚屈身のリフ、ジャンプを1つは含む、少なくとも2つのダンス系の技からなる組み合わせ ② <u>片足上のターン(360度以上)</u> <u>または接転系の技※/旋回</u> ③ 前方/側方のアクロバット系の技 (前転を除く) ④ 後方のアクロバット系の技 (後転を除く) ボーナス 終末技がA難度以上であれば、 +0.5 の加点を与える。	変更なし	・伸身とび ・かかえ込みとび ・前転 ・後転 ・前転とび下り ・側転とび下り ・片足踏み切り 側方伸身宙返り下り ・片足踏み切り 前方伸身宙返り下り	※接転系の技 ・前転 ・後転 ・前転上がり ・手支持なしで前転 ・倒立前転 ・後転倒立など
ゆ か	① 180度の前後/左右開脚または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つのリフまたはホップの直接または間接の組み合わせでの移動 ② 片足上のターン (360度以上) ③ 前方/側方の空中局面を伴うアクロバット系の技 ④ 後方の空中局面を伴うアクロバット系の技 ボーナス 以下の実施があれば、+0.5 の加点を与える。 3つの技からなるアクロバット系シリーズ(3つとも空中局面を持つアクロバット系の技であること)	変更なし	・前方倒立回転 ・側方倒立回転 ・後方倒立回転 ・倒立前転 ・後転倒立 ・かかえ込みとび	

- 注 ①A難度を認められる技も構成要求 (CR) に使用できる。~~ただし、平均台の前転、後転は使用できない。~~
 ②段違い平行棒のさかあがりは開始技でのみ難度を認める。(開始技で、低棒け上がりを行ったが難度が承認されなかった。そののち、さかあがりを行ったとき、さかあがりの難度は認める。)
 ③ゆかの空中局面をともなうアクロバット系の技に、前転とび、後転とび、ロンダートは含まれる。